

指定管理施設の管理運営評価表（評価対象年度：令和6年度）

担当部署名	企画振興部地域づくり連携課、産業文化部商工政策課
評価対象期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日
評価対象年度指定管理料	21,023,160 円

1. 施設の概要等

施設の概要	名 称	松阪市市民活動センター、松阪市中心市街地活性化複合施設（カリヨンプラザ、カリヨンパーキング）
	所 在 地	松阪市日野町788番地
	設置目的	【松阪市市民活動センター】 市民の行う広範かつ多様な市民活動を支援する総合的な拠点とするため 【松阪市中心市街地活性化複合施設（カリヨンプラザ、カリヨンパーキング）】 市民活動の振興、市内商工業の振興、地域経済の活性化を一層促進するとともに、中心市街地における道路交通の円滑化を図るため
	設備の概要	【松阪市中心市街地活性化複合施設（カリヨンプラザ）、松阪市市民活動センター】 敷地面積：948.316㎡ 建築面積：632.811㎡ 延床面積：1759.942㎡（1階：566.090㎡ 2階：605.451㎡（内136.95㎡：市民活動センター） 3階：540.001㎡（内396.68㎡：市民活動センター） PH棟・渡り廊下棟・上屋棟：48.400㎡） 施設構成： <1階>管理事務所、会議・セミナー室、展示室、産業支援センター（指定外）、倉庫（7区画） <2階>貸店舗A、貸事務所A（指定外）、貸事務所B、多目的ホール（市民活動センター） <3階（市民活動センター内）>事務室、IT工房、大会議室、小会議室1、小会議室2、小会議室3、外会議室、ラウンジ 【松阪市中心市街地活性化複合施設（カリヨンパーキング）】 敷地面積：1598.456㎡ 建築面積：1086.730㎡ 延床面積：5712.928㎡（地下1階、地上5階建て）

2. 指定管理者の概要等

指定管理者	名 称	特定非営利活動法人Mブリッジ 代表理事 米山 哲司
	所 在 地	松阪市日野町788番地
指定管理業務の内容	（施設運営） ・施設の提供 ・施設の利用料金の決定及び収受 ・駐車場の活用 ・利用促進業務 ・施設の管理に係る収入、支出について （施設管理） ・施設及び設備の保守、維持管理 ・備品管理 ・保安警備業務等 ・清掃業務 ・修繕業務 ・利用料収受業務 （市民活動活性化業務） ・松阪市の市民活動の活性化に資する業務 ・松阪市の市民活動に関する情報コーディネート業務 （中心市街地活性化業務） ・中心市街地活性化に資する自主事業	

管理業務の実施状況

【 松阪市市民活動センター 】

窓口で接する利用団体から「この施設は使いやすい」、「（市民活動団体は）安価に利用できて助かる」といった声をいただきます。施設の老朽化は仕方ありませんが利用者にとって「不便なく使える施設」であるために、細かな内部ルールや備品や設備の配置を見直すことで安定した施設管理を行うことができました。

〈施設利用状況〉

・松阪市市民活動センター：来場者数延べ：13,758人／会議室利用数：926回／登録団体数：338団体

・多目的ホール：ホール利用数：112回／利用者数：1,506人 ※いずれも2025年3月31日確認

・令和6年度は25件の新規登録があり、センター登録団体数は338件となりました。県内の中間支援施設としては最多の登録件数を維持しています。

・事務所対応は基本2名体制とし、人件費とのバランスを保ちつつ利用者に不便のないよう配慮しました。

・スタッフミーティングを適宜行い、施設管理・運営（ハード面）、センター事業（ソフト面）について協議しました。これにより、新規雇用の人材にもこの施設の役割や運営上のルールを共有できました。

また、利用者目線で内部ルールを都度改善し、不便なく使える施設管理に注力しています。

・多目的ホール利用者に必要な備品や設備に関するアンケートを実施しました。集計結果を担当所轄に報告し、設備の充実と備品購入に関する協議を進めました。

・指定管理者業務仕様書により定められる通り、センター運営委員会を設置し、利用料金、開館時間、団体の新規登録・取消などセンターの管理運営について市民目線の意見を反映しています。

・平日通常開館時間12時間（10時～22時）、週6日（月～土）の施設を安定して運営することができました。

・施設利用料金に関して、松阪市市民活動センターは当日現金精算で収受し、会計上のトラブルはありませんでした。

・利用者の声を聞くための投書箱を設置を継続し、利用者ニーズの把握にも努め、年間を通して利用者からの苦情やトラブルはありませんでした。

・休館日（日曜、祭り等）の利用についても可能な限り対応し、利用者目線の運営を心がけました。

・個人情報等は厳重に管理し、鍵付きの書庫での保管を継続しています。

・防災・防犯の対策として内部マニュアルをアップデートしています。

【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】

指定管理期間2年目となる今年度、基本的な管理・運営につきましては、前年度よりいっそう利用者にとって使いやすい施設を目指し、管理・運営及びサービスの提供を行いました。

貸会議室については、前年度に引き続き、長期に渡る勉強会を開催する国際協力センターに加え、今年度はいよいよ2025年4月に市内にオープンする、ある商業施設の面接・社員研修に当会議室を繰り返し利用いただきました。これは駅に近いという立地条件の良さと、適度な席数だったとが利用のきっかけでしたが、繰り返し利用いただくことで、利用者からの要望も細かく聞くことができ、その要望のひとつであった「容易なレイアウト変更」を、すべての長机をキャスター付き長机に交換することで応えることができました。この改善は、今後の利用の促進とリピート率を上げることに効果があると考えます。同様に椅子についても、展示室の椅子はこれまで重量がありましたので、軽量の物に交換しております。

駐車場については、日夜駐車台数の確認、不審車両の有無、未成年の遊び場になっていないか等、日常業務において実施しております。

管理運営に係る人員の配置については、昼間は従業員による3名のシフト制、夜間はシルバー人材センターからの派遣で管理3名、清掃1名の担当者をシフト制により配置してきましたが、勤続年数が長くなってくるとともに高齢化も進んできたため、新たに2名のスタッフを雇用し、必要最低人員ながらも各員の負担が重ならないような配置により運営いたしました。

新型コロナウイルスについては、一般的には注意が薄れてきているように思えますが、スタッフはマスクの着用と手指消毒を、会議室ではアルコール消毒を継続しております。

貸会議室利用回数：358回／貸会議室利用者数：5,532人／駐車場利用台数：63,542台

サービスの質の向上

【松阪市市民活動センター】

令和6年度は大きく2つの方向性を意識した事業を推進しました。ひとつは県域連携による「被災者支援体制構築モデル事業」、もうひとつはセンターを含むあらゆる主体の「顔の見える関係性構築のための事業」です。これらは南海トラフ地震等この地域で起こり得る災害時の課題に対する心構えと、主体の垣根をこえた連携体制構築のための基盤強化を目的に取り組みました。以下、年度内に実施した事業です。

- ・多目的ホールのオープンに伴い「無料見学会」を実施しました。利用者アンケートも実施し、この施設に必要な設備・備品等に関する意見を集約して担当所轄に報告しました。
- ・NP0の情報発信支援として登録団体向けに「市民活動情報サイト超初心者勉強会」を開催しました。今回は「団体会員（メンバー）募集」を軸に情報サイトの活用方法を提案しました。
- ・NP0の活動PRをサポートするため、松阪中心市街地で開催される「鈴の音市」の出店費用（上限2万円）を補助し、2団体の出店ならびにPR支援を行ないました。
- ・キャンドルナイト、打ち水大作戦など全国規模の取り組みに賛同し、この地域で環境意識啓発の呼びかけ人として17年継続して取り組んでいます。打ち水には市長からメッセージをいただきました。当日は住民自治協議会連合会の役員の皆さん、センター運営委員長、地元和裁教室の皆さんと共に打ち水を行い、地縁団体との連携・交流の一助としました。
- ・“いざという時”に備えて普通救命講習を開催しました。この講習には一般参加に加えてセンタースタッフも参加し、緊急時に冷静な対応ができるよう知識と技術を学びました。
- ・三重県主催の「官民連携による被災者支援体制整備モデル事業」にモデル地域として関わりました。大規模災害時の被災者支援を想定して県域と市町域、社会福祉協議会、中間支援組織等との連携強化をテーマにした研修会に参加しました。この研修会での学びをNP0支援に活用し、中間支援施設としてのハブ機能の強化に努めました。
- ・センターが主となり、大規模災害時における中間支援施設とNP0との連携強化を目的とした“顔の見える関係性構築事業”として「ゆるやあかにつながるサロン」を開催しました。防災・減災に限らず、多様な活動分野のNP0と行政、社会福祉協議会（ボランティアセンター）の対話の場を提供しました。
- ・NP0の活動資金調達（ファンドレイジング）の基礎を学ぶ「助成金申請のためのポイント勉強会」をオンライン開催しました。この勉強会は住友理工助成金の事業説明を兼ねて実施しています。
- ・今年度13年目を迎える「住友理工 夢・街・人づくり助成金」を実施しました。住友理工との協働事業でNP0の活動を資金面で支援しています。書類審査、公開審査を経て、5万円助成の夢づくりスタート部門で2団体、10万円助成の街・人づくり部門で3団体が採択されました。また、昨年度の優秀事業には奨励賞（1団体：3万円）が贈られました。住友理工本社にて行われた「助成金事業実務者会議」に参加し、各拠点と情報共有を行い、次年度以降の助成金事業について協議しました。
- ・今年度10回目となる「チラ-1」グランプリを実施しました。県内NP0自作チラシNo.1を決定するグランプリ企画として公募、人気投票、表彰式の流れで実施し、広く一般の市民が関われる事業でもあります。今年度は継続10年目を記念してエントリー団体が無料で参加可能な「Canva “ほどほど” 活用勉強会」をオンラインで実施しました。この勉強会では寄付チケットも設定して一般参加も募りました。※寄付はこの地域のNP0支援に活用します。
- ・今年度で21回目の実施となるリユースパソコン寄贈プログラムを実施しました。今年度は任意団体にもリユースPCを寄贈してNP0のIT化支援に取り組みました。
- ・11/3に開催される氏郷まつりに出店し、市民活動のPRを行いました。ゆるやあかにつながるサロンの参加団体にも声をかけ、それぞれの特徴を活かしたPRを行いました。
- ・三重県が12月に定める「NP0月間」に合わせて、NP0ミニ講座や市民活動にまつわる相談対応を強化しました。館内展示スペースを活用してNP0の基礎や県内NP0法人の数の推移などを掲示してNP0に対する理解が深められるよう努めました。
- ・「長〜いタイトルをなるべくカッコよく・かわいくデザインしたい人のためのワークショップ」をオンライン開催しました。行政職員の参加もあったことからNP0に限らず多様な主体が課題とを感じるテーマを学ぶ機会を提供できました。
- ・登録団体「防災ボランティア春告鳥」による一斗缶を使った「缶易（かんい）トイレ作りワークショップ」を開催しました。被災者のトイレ問題は大きな課題として捉えられています。この課題へのアプローチのひとつとして実施しました。この取り組みも「ゆるやあかにつながるサロン」をきっかけに実現しました。
- ・センター登録団体主催事業の「松阪まちなかお雛さま祭り」に協力し、センターキャラをお雛様に見立てて設置しました。
- ・あらゆる層にセンターの取り組みを伝えるため、WEBアロマ（WEBマガジン）の適宜配信と紙媒体（総集編）の発行、事業告知を主としたメールマガジンの配信、広報まつさかへの情報掲載、スタッフ主体で情報発信するブログの運営、各種SNSでの情報発信に努めました。

【松阪市中心市街地活性化複合施設】

今年度も駐車場及び貸会議室の利用者に対しては、常に丁寧かつ的確な対応を実施し、ホームページを随時更新することで、駐車場及び貸会議室利用者に対して、わかりやすい内容の掲載を心掛け、サービス向上に努めました。

貸会議室については前述しましたが、設置している長机をすべてキャスター付き長机に換えることで、利用時のレイアウトを容易に変更することができるようになったことは、サービスの質の向上に繋がると考えております。

今年度から運用が開始された、会議室予約の松阪市公共施設予約システムについては、利用者の登録は少ないものの、貸会議室の空き状況をwebで確認できるようになったことで、企業の利用が増加しています。

駐車場精算機については、7月より新紙幣が導入されたあと新紙幣での精算が対応できませんでしたが、プログラム及び装置の交換により新紙幣(1,000円札)と新硬貨(500円)の利用ができるようになりました。

施設が面する道路が交通規制となるまちのまつり開催時には、日野町側からの入庫ができなくなりますが、今年度も魚町側の進入口よりスタッフによる手動入出庫を実施し、中心市街地に位置する駐車場の役割を果たしました。

施設・設備等の維持管理	【 松阪市市民活動センター 】 ・セキュリティ会社（SECOM）と契約し、スタッフ不在時の安全面・管理体制を維持しています。 ・非常時の停電に備え、各会議室・事務所内・ラウンジ入口に充電式LEDライトを設置し電池残量等、定期点検も継続しています。また、停電時に最低限のライフライン確保のため、事務所内に設置したポータブル電源の定期的な充電状況確認も継続しています。 ・通路、ラウンジ等に設置するロッカー、書棚などの倒壊を防ぐための耐震器具のチェックを継続しています。 ・館内放送設備の点検を行い、非常時に利用者の安全を確保できる体制を整えています。 ・市の一括管理のAED設備に関して自主的にパッド、バッテリーなどのチェックを行っています。 ・施設内のPCにはウイルスソフトをインストールしてセキュリティ対策を継続しています。 ・閉館時、鍵の締め忘れ等のないようスタッフを指導し、2名体制でチェックを継続しています。 ・電気、水道、ガスの元栓などの締め忘れを防止するようスタッフに指導し、管理徹底を継続しています。 ・新型コロナウイルス等の感染症拡大防止対策として消毒液の設置を継続しています。 ・館内清掃の頻度を上げ、館内美化と設備維持に努めています。 ・施設利用者と良好な関係を築き、施設利用後の清掃協力への理解を得る等、施設利用者のマナー向上にも努めています。 ・経年劣化による設備の修繕については引き続き市と相談の上、対応しています。 なお、原因が特定できない停電に関しては原因箇所を絞り込むための館内工事を行いました。工事以降、令和6年度内は停電は起こりませんでした。 施設各所の雨漏りに関しては都度対応、報告を行なっています。 ・その他の点検や清掃など、基本的な維持管理も適切に行い、不便なく使える施設として継続して管理運営にあたっています。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 カリヨンプラザのエレベーター、駐車場のエレベーター及び自動精算機発券機は、機械設備であるため、外部業者による定期的な保守・メンテナンスの実施、また日常業務においてもスタッフによる軽微な点検を実施することで、常に心配なく利用できる設備であるように努めました。 また施設内で老朽化していた男子トイレ小便器用の流水センサー、貸会議室内の室内換気扇を交換しております。なお、カリヨンプラザのエレベーター下のポンプについては、昨年度に発注、今年度に交換しております。また、全施設に設置しています消火器(50本のうち48本)を期限切れに伴い交換いたしました。その他施設内の消防設備の定期点検・保守、浄化槽設備の定期的な清掃・管理も専門業者に委託し実施しております。 貸会議室の換気扇については施設ができた当時から交換しておらず、騒音が気になるようになってきたため交換しました。 夜間等の警備・トラブルに関しては、警備会社(イセツ・セコム)に委託し、防犯及び駐車場自動精算機のトラブルに対応いたしました。
-------------	--

指定期間	令和5年4月1日 ～ 令和8年3月31日
------	----------------------

(単位：円)

			事業計画	事業収支実績				
				令和5年度	令和6年度			
事業収支推計	収入	指定管理料	21,434,000	21,434,200	21,023,160			
		施設利用料	22,656,000	23,038,677	23,891,987			
		自主事業	3,910,000	2,857,840	2,849,400			
		計（A）	48,000,000	47,330,717	47,764,547			
	支出	人件費	26,400,000	26,259,077	25,136,111			
		管理費	13,210,000	15,476,105	6,572,597			
		事業費	5,390,000	2,166,546	13,675,605			
		その他	3,000,000	2,984,364	2,354,450			
		計（B）	48,000,000	46,886,092	47,738,763			
収支差引額（A）－（B）		0	444,625	25,784				

3. 指定管理者業務運営項目別評価

評 価 項 目			指定管理者 自己評価		担当部署評価	
業務運営項目		内 容	採点	判定	採点	判定
管理 業務 の 実 施 状 況	①施設の目的や基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されていたか。 また、職員は理解していたか。	5	A	4	B
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	5		4	
	③利用者数	利用者数は当初目標数を達成されたか。	4		4	
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	5		4	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制（作業責任者・業務担当者）は明確になっていたか。	5		4	
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	5		5	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	5		4	
	⑧地域の振興・活性化	地域や地域住民との交流・連携に関する取組みを実施し、地域交流の支援を行ったか。	5		4	
サー ビス の 質 の 向 上	①施設利用状況及び利用者数増加への取組み	自主事業や運営方法の工夫等利用者数増加に向けた具体的な取組みはあったか。（注1）	5	A	4	B
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組みを行ったか。	4		4	
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	5		4	
	④利用促進・PR	当該施設・事業について、広報誌やパンフレットを作成するなど、具体的な取組みが実施され、積極的な利用促進が図られたか。	5		4	
	⑤非常時・緊急時の対応	事故、災害等の緊急事態発生時の危機管理マニュアルの整備や対応体制の確立はされていたか。	5		4	
	⑥苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。 また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	5		5	
	⑦自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	4		4	
	⑧利用者アンケートの実施	利用者アンケートを実施し、利用者の意見・要望、満足度の把握に努めたか。 課題がある場合は対応策を講じたか。	5		5	
施設・ 設備 等 の 維 持 管 理	①建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持がされていたか。	5	A	4	B
	②備品・什器等の保守点検	備品・什器等が適切に管理され、良好な機能が保持されていたか。	5		4	
	③修繕業務	点検によって異常が認められた場合には、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じたか。	5		5	
	④樹木・植栽等管理業務	草取りや除草等を行い、利用者が快適に利用できるような良好な景観が保たれていたか。	5		4	
	⑤清掃業務	敷地内は全て利用者が快適に利用できるよう清潔な状態が保たれていたか。	5		4	
	⑥鍵管理	鍵の管理は適切であったか。	5		4	

【（注1）のみ指定管理施設の管理運営評価表作成要項の評価基準1-（2）の採点基準にて評価】

4. 総合評価

指定管理者自己評価	担当部署評価
【努力した点・成果等】 【 松阪市市民活動センター 】 指定管理6期目2年目を迎える今でも窓口で接する利用者から「使いやすい施設」として良い印象の言葉をいただけるのは、日々の館内清掃や内部ルールの改善等を実践してきた成果といえます。また、利用者とのより良い関係性を構築できていることで信頼を得ているともいえます。 新たに取り組んだ「ゆるやあかにつながるサロン」は各地の中間支援施設からの評価も高く、これまで接点の少なかった団体とも関わりが増え、結果として新規事業等も実施できました。実績としてはまだ少ないですし数値では表し難い成果ですが、既存の登録団体はもとより、新規登録の団体とも良好な関係性を築けるよう努める所存です。事業に関しては対面のみではなく、コロナ禍以降もオンラインを活用して遠方でも参加しやすい環境を提供しました。オンラインで実施した講座や勉強会等はPeatixを活用することで受付の効率化にも努めました。また、原則として登録団体は「無料」で参加できる講座に「寄付チケット」を設定することで一般開放し、NPOの活動を“寄付で支援する”意識を高める一助としました。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 日常業務において、施設内の設備など付随するものを日々チェックし、故障または不具合のあるものは早急に修理、交換してまいりました。当たり前の物を当たり前のよう 사용할ことが、利用の促進に繋がると強く思います。また今年度は「貸会議室のサービス向上」について重点的に取り組んでまいりました。これまで立地条件の良さや利用価格の安さで選ばれることが多かったと感じていましたが、それに使いやすさや便利さをプラスしてリピート率を高めるよう努力いたしました。その結果はすぐには分かりませんが、現段階で利用者からは高評価を得ています。 昨年までの駐車場における「鳩対策」については、今年度も同様の努力をいたしました。 その他施設(会議室)の利用については、設備・備品の充実、清掃、メール・FAX・電話などでの迅速な受付と的確な対応に努め、快適でスムーズな利用を常に実施しております。 このことは今年度も利用後のアンケートで評価されております。	【評価すべき点】 【 松阪市市民活動センター 】 ZoomやPeatixなどのオンラインツールを積極的に活用することで時勢に対応した効率の良い支援が行われており、講座については「寄付チケット」を設定することで、地域における寄付文化醸成に寄与されました。 サロンの取り組み等を通じて利用者との良好な関係構築に努められています。 非常時に対する意識が高く、防災・防犯マニュアルをアップデートするなど、利用者及び職員の安全確保に努められています。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 会議室・駐車場利用共に、大きな事故等もなく管理いただきました。会議室の利用についても初年度と比べ大きく増加しており、取組の結果であると評価します。 また、駐車場における鳩対策につきましても、抜本的な対策がない中、人力で対応いただき駐車場利用者からの苦情等はなかったのではと感じます。 施設利用全体において、担当課への報告について、速やかな報告に努めていただいています。
【改善すべき点】 【 松阪市市民活動センター 】 ・中間支援施設としての役割を改めて見つめ直した際に、スタッフ各々のスキルにバラツキがあることは否めません。業務が一部のスタッフに集中してしまう状況は改善すべき点だと感じています。ただし、勤務日数や勤務時間、個人の性格にも左右される課題でもあるため慎重に検討し、内部だけでなく、外部へのスキルアップ研修等への参加も考慮して検討を重ねたいと思います。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 施設全体の老朽化に関しては、雨漏りや予期しない停電、困難な扉の開閉、非常階段の暗さなど、まだ改善すべき事由が残っております。このことは必要最低限でも安心安全で利用しやすい施設を目指すべく、担当所轄との連絡相談を密にし、善処していきたいと考えます。	【指導すべき点】 【 松阪市市民活動センター 】 人材育成に関して、既存スタッフの育成視点の再構築や新規スタッフ育成のプログラム化等により、スタッフ一人ひとりの能力開発、意欲の向上を図るとともに、業務分担の見直し等も検討しながら、引き続き安定した管理運営をお願いします。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 特になし 雨漏り、停電等施設に関わるトラブルについては、早急な対応・報告をいただいています。引き続き、同様の対応をお願いします。
【所属長意見（今後の方向性等）】 【 松阪市市民活動センター 】 更新により活動団体の選別ができたことは、今後の市民活動団体支援を進めるにあたり有益であると考えています。来場者数や会議利用数は昨年度同数程度で推移していますが、オンライン講座等、より積極的な事業展開がなされています。 今後も関係団体等との連携のもと、市民活動のための活動・情報交流、ネットワーク形成の場として、質の高いサービスの提供をお願いします。 【 松阪市中心市街地活性化複合施設 】 指定管理として2年が経過します。 大きな事故・苦情もなく、安全に施設利用していただいております。日々の適正な管理のたまものであると感じます。 また、施設異常時の迅速な報告をいただいている点、自主事業の実施等、商店街関係者と連携を図りつつ企画、実施に尽力いただき地域の活性化を図る取組を行っていただいたところも評価します。 今後においても、地域と連携を取り、中心市街地の活性化に寄与する事業実施いただくことをお願いします。	

点数	採点基準	
5	優良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されているとともに、独自の新たなサービスが提供されている。
4	良	協定等で定めた水準以上のサービスが提供されている。
3	普通	協定等で定めた水準のサービスが提供されている。
2	やや劣る	協定等で定めた水準のサービスが一部提供されていない。
1	劣る	協定等で定めた水準のサービスが多く業務で提供されていない。 早急に改善が必要である。

評価	評価の判定基準
A	5が半分以上かつ残りも3以上
B	全てが3以上
C	2が含まれる
D	1が含まれる